

【地域の概要】

- 白川町は、岐阜県の中南部にある加茂郡の東部に位置する人口8千人余りの町で、町全体の面積の約88%が山林である。
また、同町は5地区（佐見・黒川・白川・白川北・蘇原）に分けられ、農地面積約950ha、うち約2割が担い手に集積されている。
- 当該地域では、白川町の基幹的農業であるお茶の栽培が盛んである。また、多くの地域で集落営農が立ち上げられ経営体への農地の集約化が進んでいる。

①取組開始前の状況や課題

- 農業従事者の高齢化と担い手不足が深刻な状況で、農地の減少・荒廃が懸念される。
- 当該農地は、区画が不整形でかつ急傾斜なほ場となっており、生産性や作業性が著しく悪化しており、効率的な営農に支障をきたしている。

②取組内容

県営中山間地域総合整備事業（茶の里白川地区鱒淵工区）により、農業生産基盤と生活環境基盤の一体的な整備を推進

- ほ場整備については、令和元年度に終了。令和2年度より換地業務を発注。

（農）鱒淵茶園への農地集積

（令和3年11月）

- 農地中間管理機構を活用し、（農）鱒淵茶園へ約19haの農地を集積。



換地図

③今後の展開と方向性

- 茶園管理作業にかかるコストが抑制され、低コスト化が図られる。
- 高齢化などにより管理ができなくなった畑の管理を行い、耕作放棄地の減少を図る。
- 高齢の従事者による作業性を高める機械化に対応した茶園整備を推進することで、若年層にも魅力ある就労環境を創出し、産業の活性化を図る。